

# デジタル・パイプオルガンコンサートNo. 9

ドイツ Hoffrichter 社製、移動式デジタルパイプオルガン使用

## 尺八、箏、パイプオルガンによる ～Original Worksの響宴～

酒井多賀志:オルガンsoloの為の「瞑想的トッカータ」Op. 1-3

三塚 幸彦:尺八、箏、の為の「江差」

酒井多賀志:箏とオルガンの為の「幻想曲」Op. 60

:「世界に一つだけの花」の主題によるアリアとフーガ Op. 70(アンサンブル初演)

:オルガンsoloの為の瞑想的即興曲「流離」Op. 17

:尺八とオルガンの為の「対話」Op. 22

三塚 幸彦:箏soloの為の「風」

酒井多賀志:尺八、箏、オルガンの為の「幻想曲」Op. 67

皆で歌おう:武満 徹:「小さな空」 小山作之助/佐々木信綱:「夏は来ぬ」



## 小金井 宮地楽器ホール 小ホール

JR中央線 武蔵小金井駅前(南口徒歩1分)

2016年 6月24日(金) 開場(18:30) 開演(19:00)

一般:¥1500 学生・65歳以上:¥1000

お問い合わせ:酒井多賀志公演会 (Tel. Fax: 042-637-1345)



尺八:三塚幸彦(みつか・ゆきひこ)

札幌市出身、専修大学経営学部経営学科卒業

大好きだったカルロス・サンタナのまねをする中、FMで聞いた尺八の音色の虜に。

大学在学中は邦楽のサークルに入部。卒業後はNHK邦楽技能者育成会にすすみ、NHK邦楽オーディションに三連続合格など邦楽の世界でしばらく活動していたが、和太鼓の林英哲氏、パイプオルガンの酒井多賀志氏、ウードのハムザ・エル・ディン氏ら、独自の奏法と自らの感性で世界中の音楽家に影響を与える彼らとの競演を契機に「まね」をやめようと思案、遠TONE音結成に至る。

箏:小野美穂子(おの・みほこ)

山口市出身、山口芸術短期大学音楽科卒業

箏曲家の家に生まれ、幼少のころから祖母、母から箏の手ほどきを受けるが、次第にピアノに傾倒、大学もピアノを専攻。しかし自分の心に響くのは箏であることに気づき、生涯の楽器として箏を選択、箏の専門家としてその登壇門であるNHK邦楽技能者育成会入学、NHK邦楽オーディション合格などを果たす。しかし自分の進もうとする世界の音楽を鑑賞できない自分に疑問を感じ、自分で鑑賞できる音楽を求め続けている。

箏・尺八・ギターによる「遠TONE音」のメンバー。



デジタル・パイプオルガン:酒井多賀志(さかい・たかし)

1972年 東京芸術大学オルガン科大学院修了。

1970年 在学中に、万国博オルガン・コンクールで最高位入賞。1981年 完全音程を主体として作曲に着手。

1990年 本日のメンバーによりCD「流離」リリース。

1992年 オリジナル曲「流離」(SASURAI)をオックスフォード大学出版局から出版。

2000年以来数多くのソロリサイタルCDをリリース。

2011年 DVD「響きわたる音の神殿パイプオルガン」をリリース。

現在、カトリック吉祥寺教会オルガニスト、東京純心女子大学客員教授、日本演奏連盟会員、日本オルガニスト協会会員。



◎当ホールにて、チケット前売り中◎